



# 株主のみなさまへ

## 第121期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日



子どもたちに誇れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION  
**清水建設**



清水建設は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

# 株主のみなさまへ

---



取締役会長 宮本 洋一



取締役社長 井上 和幸

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

ここに、第121期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）上半期の、当社グループの業績及び事業活動の概況についてご報告申しあげます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなにとぞ相変わリませぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

2022年12月

---

## INDEX

株主のみなさまへ	1	シミズのものづくり	7
社長メッセージ	2	SDGs達成への取組みとESG経営	9
業績ハイライト	3	当社グループの主なニュース	11
トピックス	5	主な完成工事	巻末

# 社長メッセージ

経営環境については、ウクライナ危機の長期化や急速な円安の進行、それらに伴うエネルギー資源、食料の世界的な供給制約と価格上昇が企業活動と国民生活に広く影響を及ぼしています。また、新型コロナウイルス感染症については、各種制限の段階的な緩和により、社会経済活動の正常化に向けた動きが見られています。

建設業界においては、民間設備投資に持ち直しの動きが見られ、業界全体の受注高は前年同期を上回る水準で推移しましたが、工事の大型化に伴う受注競争激化や資材価格の高騰など、厳しい経営環境が続いています。

当社グループは、こうした足元の環境変化に迅速・適切な対応を図りつつ、ニューノーマル、デジタル、脱炭素など時代の転換期を企業変革、事業拡大の好機と捉え、「中期経営計画〈2019-2023〉」に掲げる新たな収益基盤の確立のための投資を着実に実施し、企業価値向上に向けたESG経営とSDGs達成への取り組みを進めています。

環境・エネルギー分野においては、再生可能エネルギー市場に進出し、新たな収益源の創出に向けた挑戦を始めています。その一つとして、本年10月に世界最大級の自航式SEP船「BLUE WIND」が完成しました（P5参照）。今後はSEP船を活用し、成長が見込まれる洋上風力発電事業の取り込みに注力するとともに、脱炭素社会の実現に向けた貢献を進めてまいります。

また、人的資本経営が重視される中、長期ビジョン「SHIMZ VISION 2030」の達成に向け、多様性を重視した人財の確保、成長を促す制度改革や人財育成、そして働きがいと魅力あふれる職場づくり、それぞれの領域で着実に変革を進めています。現在、東京都江東区に建設を進めている「(仮称)潮見イノベーションセンター」を、ものづくり人財の育成、技術や

当社グループのDNAの伝承など、人財イノベーションの拠点として活用するとともに、同施設をハブとした産官学連携のオープンイノベーションにより、生産技術革新や先端技術開発を進めてまいります。

DX（デジタルトランスフォーメーション）については、中期デジタル戦略2020「Shimz デジタルゼネコン」に基づき、積極的に取り組みを進めています。DXによる業務プロセスの変革や生産性向上は、喫緊の経営課題である「2024年から適用される時間外労働の上限規制」への対応や建設業における担い手の確保や業界の魅力向上にも不可欠であり、全社を挙げて取り組んでいます。今後も「デジタルゼネコン」のトップランナーとして、建設業におけるDXをリードしていく決意です。

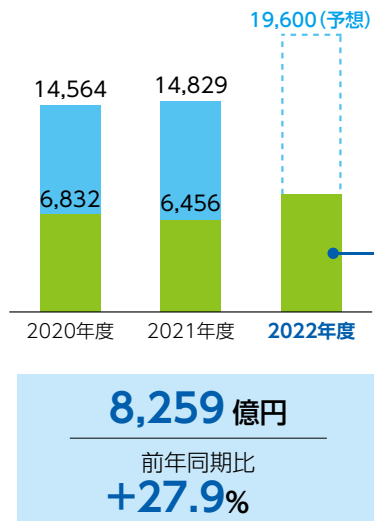
当社グループは、社是「論語と算盤」のもと、長きにわたり培ってきた歴史、伝統、技術を礎に、社会の期待を超える価値の創造のために、未来志向の果敢な挑戦を続けてまいります。



# 業績ハイライト

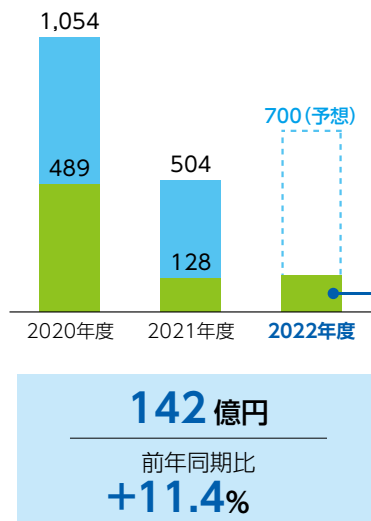
## 連結売上高

(億円)



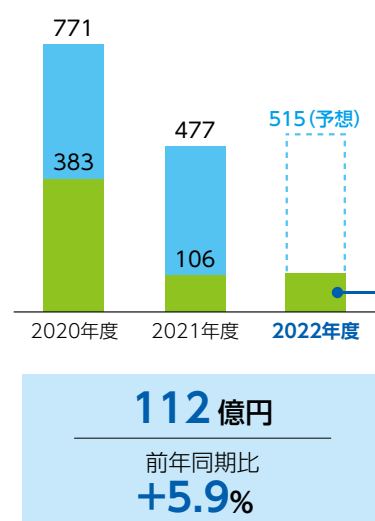
## 連結経常利益

(億円)



## 連結当期純利益※

(億円)



■ 通期 ■ 上半期 ※連結損益計算書上の「親会社株主に帰属する当期純利益」

## ■ 当上半期の業績について

当社グループの当上半期の売上高は、完成工事高及び開発事業等売上高の増加により、前年同期に比べ27.9%増加し8,259億円となりました。

利益については、完成工事高の増加により完成工事総利益が増加したことなどから、経常利益は前年同期に比べ11.4%増加し142億円、当期純利益は、5.9%増加し112億円となりました。

## ■ 通期の業績見通し

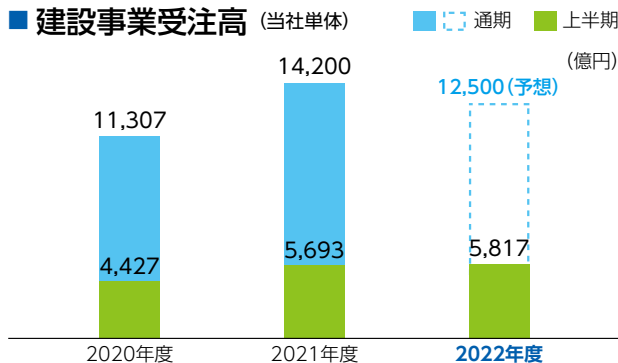
2022年度通期の連結業績は、売上高1兆9,600億円(前期比+32.2%)、経常利益700億円(前期比+38.8%)、当期純利益515億円(前期比+7.8%)を見込んでおります。

なお、このうち建設事業は、売上高1兆7,500億円(前期比+35.0%)、売上総利益1,355億円(前期比+66.9%)、非建設事業は、売上高2,100億円(前期比+12.3%)、売上総利益440億円(前期比△24.8%)を見込んでおります。

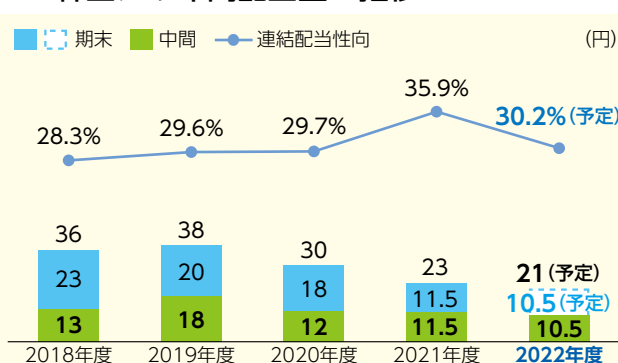
## ■ 事業別情報 (連結)

	売上高		売上総利益	
	上半期	通期見通し	上半期	通期見通し
<b>建設事業</b> 国内建築事業・国内土木事業・海外建設事業	<b>7,374</b> 億円 前年同期比 <b>+25.3%</b>	<b>1兆7,500</b> 億円 前期比 <b>+35.0%</b>	<b>489</b> 億円 前年同期比 <b>+13.5%</b>	<b>1,355</b> 億円 前期比 <b>+66.9%</b>
<b>非建設事業</b> 投資開発事業・エンジニアリング事業・LCV事業・フロンティア事業 他	<b>885</b> 億円 前年同期比 <b>+55.0%</b>	<b>2,100</b> 億円 前期比 <b>+12.3%</b>	<b>113</b> 億円 前年同期比 <b>+1.7%</b>	<b>440</b> 億円 前期比 <b>△24.8%</b>

## ■ 建設事業受注高 (当社単体)



## ■ 1株当たり年間配当金の推移



## ■ 主な受注工事

キオクシア株式会社	キオクシア岩手第二製造棟 (K2)・新管理棟建設工事
建築 工事 淵野辺デベロップメント 特定目的会社 日本生命保険相互会社	(仮称) 相模原市中央区淵野辺プロジェクト/新築工事
永田町PFI株式会社	内閣府新庁舎 (仮称) 整備等事業のうち建設業務
MRTジャカルタ社	ジャカルタMRT2期工事 CP202工区
土木 工事 東海旅客鉄道株式会社	中央新幹線第一木曾川橋りょうほか新設

その他財務情報の詳細は  
当社コーポレートサイトを  
ご覧ください。





## ■ 世界最大級のSEP船「BLUE WIND」が完成

約500億円を投じて建造を進めていた自航式SEP船「BLUE WIND」が本年10月に完成しました。BLUE WINDは全幅50m、全長142m、総重量28,000t、クレーンの吊上げ最大荷重は2,500tで、世界有数の搭載能力と作業性能を備えており、船名には、当社のコーポレートカラーを基調とするSEP船が「風のように海原を駆け巡り洋上風力発電施設の建設市場を席巻する」という思いが込められています。

今後、日本政府による2050年カーボンニュートラル宣言を踏まえた洋上風力発電施設の建設が日本各地で本格化します。当社はこうした建設需要を着実に取り込み、洋上風力発電施設施工のトップランナーを目指すとともに、事業者としても洋上風力発電事業に挑戦していきます。



自航式SEP船<sup>®</sup>「BLUE WIND」  
※Self-Elevating Platform: 自己昇降式作業船

## ■ 「第63回BCS賞」を当社施工物件5件が受賞

日本建設業連合会が、毎年国内の優れた建築物を対象に、建築主、設計者、施工者による「三位一体」での取り組み過程を重視して選定する「BCS賞」。第63回となる本年は当社の施工物件が5件受賞しました。

早稲田大学37号館  
早稲田アリーナ  
(撮影：新建築社写真部)



谷口吉郎・吉生記念  
金沢建築館  
(撮影：北嶋俊治)

物件名	概要
早稲田大学37号館 早稲田アリーナ	6,000人収容の多目的アリーナを地下に埋設し、屋上には緑豊かな広場「戸山の丘」を創出するという高難度の工事を完遂した。
谷口吉郎・吉生記念 金沢建築館	金沢所縁の建築家の偉業を再現した日本初の公立建築ミュージアム。品質、見栄えにこだわり、歴史都市にふさわしい建物が完成した。
東京大学総合図書館	既存図書館の耐震化や意匠の復元とともに、300万冊収蔵の自動化書庫を備える別館を地下に新設。伝統の再生と未来志向の図書館を実現した。
長野県立美術館	長年県民に愛された長野県信濃美術館の建替計画で、屋上からは善光寺を望む。美術館として求められる機能を高い技術力で確保した。
GREEN SPRINGS	国営昭和記念公園に面して開発された複合施設。当社は同施設の一部となる多摩信用金庫本店の設計施工を手掛けた。

## ■ 熊本地震で全倒壊した「阿蘇神社楼門」が再上棟

2016年4月の熊本地震で被災した、熊本県阿蘇市の国指定重要文化財「阿蘇神社楼門」の上棟祭が本年9月に行われました。本工事では全倒壊した楼門の部材を極力再利用することを前提に約11,000点に及ぶ部材を回収し、その72%を再利用しています。また従来の部材による骨組を復原しつつ、熊本地震と同程度の揺れにも耐えられるように倒壊前にはなかった耐震鉄骨を骨組の中に納めました。地震により全倒壊した国指定重要文化財の保存修理工事は極めて珍しく、数例しかありません。当社は引き続き、伝統木造技術を活かして文化的価値の高い神社・仏閣の保存・修理工事に取り組んでいきます。



【素屋根】の中で行われた上棟祭。保存修理工事は最終段階に入り、2023年12月に竣工予定。

## ■ 国内屈指の難工事、「音中トンネル」が竣工



本年6月に竣工した「音中トンネル」(延長4,686m)

音威子府<sup>おといなっぶ</sup>バイパスは、北海道の音威子府村から中川町に至る国道40号のバイパス道路で、交通事故の低減や雪崩による特殊通行規制の解消を目的とした事業です。延長19.0kmの本事業の中で、当社は最長となる「音中トンネル」(延長4,686m)を施工しました。トンネル掘削時は脆弱な蛇紋岩層により、地盤のひび割れや隆起、トンネルアーチ部の変形に悩まされましたが、様々な技術対策を重ねることで克服し、2010年の着工から12年の歳月を経て本年6月に竣工しました。当社は、こうした難易度の高い工事に粘り強く取り組み、地域社会に貢献していきます。

## ■ 西九州新幹線 長崎駅

九州新幹線西九州ルート（福岡市・長崎市間）のうち、西九州新幹線として、本年9月23日に武雄温泉（佐賀県）・長崎間が開業。その終着駅となる長崎駅が運用を開始しました。南北に延びる長さ250m、幅40m、最大高さ13mの膜屋根は、港に面した駅の立地を活かし、海に向かい緩やかに高く大きく広がり、明るく解放感のあるつくりとなっています。長崎の新たなシンボルとなることが期待されます。

### 工事概要

所在地：長崎市尾上町1-89

発注者・監理：独立行政法人 鉄道建設・

運輸施設整備支援機構

設計：株式会社安井建築設計事務所



ホームに採用された膜屋根は、テントやドームのように膜材料を張ってつくられ、透過性に優れているのが特徴。明るく開かれたホームを演出している。



北東面の全景



「世界新三大夜景」の一つである長崎の夜景。当建物の膜屋根は光を透過し、夜景を彩っている。

写真提供：JRTT鉄道・運輸機構



## お客様から



鉄道建設・運輸施設整備支援機構  
九州新幹線建設局  
諫早鉄道建築建設所  
所長  
上野 圭一様

## 人生において印象に残る仕事に

当駅のデザインは、県と市が駅周辺を含めたまちづくりについて独自に基本計画を作成し、当機構に具体的なイメージを提示してもらうという経緯で決まりました。新幹線駅として初めて上家に膜屋根を採用し、ホームから海が見晴らせる唯一無二の終着駅として、無事竣工することができました。清水建設にBIMを駆使したさまざまな取り合いの確認や各社との工程を調整いただいたことなどが、工期通り完成した大きな要因だったと思います。全国的に見ても特徴のある新幹線駅を、共につくり上げることができ、私の人生の中でも非常に印象に残る仕事になりました。

## 厳しい条件での施工を実現

約3年の工期中、最初の1年は東側の隣接地に在来線が走り、西側では他社施工の在来線高架工事が進行していました。そのため、ホーム階の鉄骨膜屋根工事に着手できず、また在来線高架化後の2年は、当工事が営業線近接になるという厳しい条件がありました。

日本最西端の新幹線の駅を、関係者全員の頑張りでも工期通りに引き渡し、お客様に喜んでいただけたことは施工者眞利に尽きると感じています。



工事長  
小椋 功

## 土木からのバトンをつないで

2015年に当社の土木(高架橋)工事が着工、その後に続く建築工事も絶対に受注したいと、九州支店の土木、建築が一体となって取り組んだ案件です。無事にバトンを受け取ることができ、ほっとしています。長崎は私の故郷でもあり、駅周辺の大規模開発が次々に行われ地元の盛り上がりを感じる中、長崎の顔となる新幹線駅の建設に携わり、「子どもたちに誇れるしごと」に貢献できたことをうれしく思います。



営業担当者  
長崎営業所 営業課長  
福田 省平

## 鉄骨膜屋根の精度管理に注力

ホーム階の鉄骨膜屋根工事では、仮設支保工で鉄骨の荷重を受けながら屋根を構築、仮設支保工を外す際にジャッキダウンを行う、ということを繰り返しました。やり直しはできないため、事前に3次元シミュレーションも行いながら、毎日ほぼ付きつきりで綿密な精度管理を行いました。膜屋根が完成し、足場をすべて解体した後、ホームの端から端までを見通せた時の達成感は忘れられません。



施工担当者  
野中 真二

# SDGs達成への取組みとESG経営

当社グループは、長期ビジョン「SHIMZ VISION 2030」に基づき、事業構造、技術、人財の3つのイノベーションの融合により、新たな価値を創造し、SDGsの達成に貢献します。

また、ESG経営を着実に推進し、事業活動を通じて社会的責任を果たすことで、ステークホルダーからの信頼を高めるとともに、中長期的な企業価値の向上と持続的な成長を実現します。

## 低コスト・グリーン水素製造実証プラントが完成、実証運転を開始

大分県玖珠郡九重町において、低コスト・グリーン水素製造技術<sup>\*1</sup>を適用した実証プラントが完成し、本年8月から実証運転を開始しました<sup>\*2</sup>。本事業は、国内に豊富に存在する地熱と木材などのバイオマス資源を活用して水素を製造し、製造時のCO<sub>2</sub>排出量を市販水素の1/10以下に、また製造コストを太陽光発電などで製造する水電解水素の1/3以下にすることを目標に実証試験を行うものです。当社は今後、本事業を通じて得られるノウハウを活用し、中小地熱発電所に併設する水素製造実用プラントの自社開発に取り組む予定です。

※1：低コスト・グリーン水素製造技術は当社、(有)市川事務所(新宿区)、エネサイクル(株)(宮城県大崎市)、大日機械工業(株)(横浜市)、(株)ハイドロネクスト(大分市)の共同開発です。

※2：本実証プラントは、環境省「地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業」の対象として、当社が環境省から委託を受けて建設したものです。



水素製造プラントの全景

## CLT<sup>\*</sup>パネル工法で国内最大級・スパン18mの無柱大空間を構築

森林資源の循環利用を目指して木質構造の建築に注目が集まる中、当社は岡山大学津島キャンパスにおいて木造2階建ての交流・共創拠点「岡山大学共育共創 commons」の設計・施工を手掛けています。本計画では、脱炭素社会の実現に貢献すること、国内最大のCLT生産能力を有する岡山県の地域産業の活性化に寄与することを目的に、環境に優しい木質系材料CLTを構造材とするCLTパネル工法を採用。本計画に適用した新技術「CLT大梁ジョイント・メタルレス構法」により18m×21.6mの無柱大空間を構築しています。

※CLT (Cross Laminated Timber：直交集成板)

繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料。環境負荷の低減、森林資源の活用等、社会的な課題解決に向けて利用の促進が期待されている。



本年中に竣工予定の「岡山大学共育共創 commons」(完成パース)。監修(基本設計含む)は同大学の特別招聘教授である隈研吾氏。

## コンクリート表層に塗布した含浸剤でCO<sub>2</sub>吸収を促進

北海道大学と共同で、既設のコンクリート構造物を利用して大気からのCO<sub>2</sub>吸収を促進する技術「DAC (Direct Air Capture) コート」を開発しました。表層に塗布した含浸剤を介して、コンクリート構造物に大気中のCO<sub>2</sub>を塗布前の1.5倍以上を吸収・固定化させるものです。含浸剤の主材となるアミン化合物は、防食性能も有しているため、鉄筋の腐食を抑制し、鉄筋コンクリートの長寿命化にも寄与します。本技術は2026年の実用化を目指し、実大規模での性能実証などを進めていきます。



DACコートの実験の様子

## 「360度フィードバック」を全社展開

当社では働くすべての人が心身ともに健康で、お互いが認め合い、一人ひとりの特色や強みを最大限に発揮できる「働きがいと魅力あふれる職場」の実現を推進しています。

その取り組みの一つとして、「360度フィードバック」を導入しています。360度フィードバックは、対象者の職場での行動が周囲（主に同僚や部下）にどのように伝わっているか、本人に「気づき」を与え改善を促す仕組みです。昨年度は、部署長クラス約600名、本年度上期はグループ長・工事長クラス約1,100名を対象に実施し、組織改善・職場の信頼関係向上に一定の効果をあげました。



360度フィードバックの概要

## 労働災害ゼロに向け、安全体感車「甕割号」<sup>かめわりごう</sup>※の運用を開始

建設技能労働者に対する安全教育の強化と高度化を目的に、体感型の安全教育ツールを搭載した安全体感車「甕割号」を開発。本年4月から「移動型安全道場」として運用を開始しました。「甕割号」の車内には、事故の危険性をリアルに体験できる体感装置や、労働災害の発生状況を仮想空間で疑似体験できるVR装置を配置しており、技能労働者を対象に、年間延べ2,000名の受講を予定しています。

※「甕割号」の開発にあたっては、(株)明電舎の協力を得ました。

※「甕割号」の由来：司馬温公の甕割りの逸話に由来し、どんなに貴重なものでも人の命には代えられないという教えから名づけられました。



上：11tのトラックを改良し開発された「甕割号」  
左：フルハーネスのぶら下がり体験の様子

# 当社グループの主なニュース

2022年4月～11月の当社グループの主なニュースをご紹介します。タイトルをクリックいただき、参照リンク先からご覧ください。

## ■ 建設事業

- 中層木造オフィス「TDテラス宇都宮」が竣工
- 半世紀ぶりに東京木工場を全面建替え  
～木の文化・技術・魅力の発信拠点が2025年秋に完成～
- ジャカルタMRT南北線2期工事で地下工区「CP202」をJV受注  
～着工済みのCP201工区に続き、3駅舎を含む延長1.8kmの地下鉄工事を担当～

## ■ 非建設事業

- 石狩湾新港洋上風力発電施設が起工  
～世界最大級の新造SEP船で施工～
- 「横浜アイマークプレイス」に複数のビル管理業務アプリを導入  
～ビルマネジメントのデジタル化により業務効率を向上～
- 自社開発の物流施設「エスロジ福岡空港」が竣工  
～西日本鉄道が一括賃借し、国際物流拠点として運営～

## ■ DX・RX

- 「デジタルトランスフォーメーション銘柄（DX銘柄）」に2年連続で選定
- 建設RXコンソーシアム 参画ゼネコンが31社に  
～130社超の会員が協働し、建設業界全体の生産性・魅力向上をさらに加速～

## ■ SDGs・ESG

- 2022年度SDGs・ESG説明会を開催
- 循環型の木材活用に向け、群馬県川場村で植林・育林活動を開始  
～使った分は植えて育てる、「シミズめぐりの森」プロジェクト～
- 「おやじの出番！親子で体験！木工教室」を開催
- シミズグループCSR調達基本方針の改訂・シミズグループCSR調達ガイドラインの制定

## ■ 技術開発

- BILMUS（ビルマス）が超高層ビルの構造を革新  
～絶大な制振効果でレジリエンスを向上させ、経済設計も実現～
- コンクリート打設後のアンモニア低減対策で美術館・博物館の早期供用に貢献  
～「発生抑制」「除去」「濃度管理」の複合メニューで早期・確実に室内濃度を低減～
- 伝統木造建築物の火災リスクを低減  
～AIやIoT技術を活用した新たな防災システムを開発～

## ■ その他

- 「シミズコーポレートレポート2022」を発行
- ラグビーチーム「清水建設江東ブルーシャークス」の運営組織を法人化  
～来シーズンに向け、地域密着型スポーツチームとしての運営体制を強化～

## おすすめコンテンツ

### ■ コーポレートサイト（特設サイト）

- 「Shimz Human & Tech Magazine ヒトワザ!」  
Case: 1 虎ノ門・麻布台地区第一種市街地再開発事業 建設工事
- 再生可能エネルギーの未来を支える世界最大級の自航式SEP船
- Photo Gallery「the 現場」

### ■ 当社のSNS（公式アカウント）

- Instagram 現場図鑑
- Twitter 清水建設株式会社【公式】
- YouTube 清水建設公式チャンネル
- Facebook シミズ・ドリーム





## 主な完成工事

左上：プロロジスパーク草加プロジェクト (埼玉県)  
発注者 プロロジス

右上：南小岩六丁目地区第一種市街地再開発事業  
施設建築物新築工事 II街区新築工事 (東京都)  
発注者 南小岩六丁目地区市街地再開発組合

左下：大阪医科薬科大学病院新本館新築工事  
(1期工事) (大阪府)  
発注者 学校法人大阪医科薬科大学

右下：新東名高速道路 菅沼トンネル工事 (神奈川県)  
発注者 中日本高速道路株式会社

表紙：(仮称)川西市立総合医療センター  
キセラ川西センター整備事業 (兵庫県)  
発注者 川西市

## 清水建設株式会社

〒104-8370 東京都中央区京橋二丁目16番1号  
TEL 03-3561-1111 (大代表)  
<https://www.shimz.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。

